

第2号議案資料

2023年度事業計画書及び予算計画書

2023年度事業計画書及び予算計画書

A. 事業計画

循環型社会の構築を目指し、行政・消費者・産業界が緊密な連携のもとに3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化）・資源循環の活動を推進する。

資源の循環利用に貢献する活動を基礎として、サーキュラー・エコノミー（循環経済）の優良事例となる活動、さらにカーボンニュートラル・脱炭素やネイチャーポジティブ（自然再興）などの課題を同時に解決する活動なども対象とした広範な資源の循環利用を推進し、表彰やセミナーを通じて紹介、情報共有を図る。

また、コロナ禍で発展したデジタルツールを活用して、情報共有を進めていく。デジタル化については、協議会の運営のあり方にも活用していく。

本年度は、次ページ以降のとおり事業を実施する。

2023年度事業計画書及び予算計画書

1. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の実施

3 R活動に率先して取り組み、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を表彰する「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を実施する。

協議会会員及び地方自治体等の推薦機関を通じて候補を募集し、有識者等による審査委員会において受賞者を選定する。

結果は冊子やホームページ等で公開するとともに、記者クラブや報道機関へ広報する。

表彰式は10月の3 R推進月間に合わせて挙げる（10月30日予定）。

賞の種類は、内閣総理大臣賞、財務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞及びリデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞を予定する。

内閣総理大臣賞及び大臣賞は「個人・グループ・学校」及び「事業所・地方公共団体等」の2分野について賞を設ける。

なお、募集及び審査に十分な期間を取るために、次年度の表彰についても実施する前提で本年度から大臣賞交付申請等の作業を開始する（主要スケジュールは次ページを参照）。

また、応募案件の拡大、受賞者の活動内容の効果的な普及啓発を図るための方策について、審査委員会及び企画運営委員会にて検討を行う。

2023年度事業計画書及び予算計画書

1. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の実施（続き）

<令和5年度（2023年度）表彰に関する主要スケジュール（実績及び予定）>

（2023年）

3月 3日	推薦募集開始（推薦機関への案内、ホームページ等で紹介）
4月17日	推薦募集締切
5月～8月	審査（書面審査、審査委員会における審議（2回予定））
10月26日	結果発表（14時解禁）
10月30日	表彰式
12月頃	次年度に向けての検討（審査委員会）

2. リデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークによる3Rの普及・促進

企業・地方自治体・市民団体・業界団体・学校等の3R実践活動や啓発・教育活動の場において3R・資源循環のアイコンとして広く使用していただくことにより、3R・資源循環に対する意識の向上や啓発を図る。キャンペーンマークの使用された事例は、ホームページで紹介する。

キャンペーンマークの存在を広く知ってもらえるように、表彰等の協議会の事業を紹介する機会等を利用して、キャンペーンマークを紹介し、認知度の向上を図る。

2023年度事業計画書及び予算計画書

3. 活動強化策の実施

協議会活動を充実させるべく、活動強化策を継続する。内容は企画運営委員会で審議の上で実施する。費用が発生する場合には、企画運営委員会の承認を得た上で「3R推進事業費」から支出する。

予算は、100万円とする。

活動に継続性を持たせるため、本年度事業として企画する活動強化策で、次年度4月から総会開催日までに費用が発生する活動がある場合には、本年度の「3R推進事業費」予算の未使用額を上限として、企画運営委員会で承認を得た上で実施し、その費用計上は次年度とする。

また、毎年継続して行っている活動において、次年度の準備が必要な作業については、次年度も行うことを企画運営委員会の承認を得た上で、本年度から準備作業を始める。費用が発生する場合には、その費用計上は次年度とする。

例としては「3R推進ポスターの制作・配布」がある。3R推進ポスターのデザイン（コンテスト）募集のために十分な期間を取るため、本年度から募集を開始するが、費用は次年度に計上する。

また、本年度内に費用は発生しないが「優秀3R推進活動発表会」の講演予定者の選定と打診は、本年度から作業を開始する。

2023年度事業計画書及び予算計画書

1) 企画運営委員会

前年度に引き続き、協議会活動を充実させるべく活動強化策の具体的な内容の検討や意見交換を行い、予算等を勘案の上で実施する。

また、3R推進功労者等表彰の応募数増加策についての検討も継続して行う。

2) 優秀3R推進活動発表会

前年度の3R推進功労者等表彰の大臣賞受賞者を中心に受賞の取組や受賞後の発展について発表していただき、行政所管、産業分野を越えて広く共有化、普及啓発を図る（2023年度総会后開催）。

3) 3R連絡会

行政、会員団体、その会員企業を対象を限定した情報提供の場とし、広範な3R動向の把握、交流を図る。テーマについては、業界の3R・資源循環の動向、法改正などの国内の動向、欧州の資源循環戦略、SDGsなどの世界の動向と幅広い視点で情報を得られる場を構築していく。

コロナ禍において、オンライン形式やハイブリッド形式のセミナーが当たり前前に開催されるようになってきているので、これまでの方法にこだわらずに企画する。

2023年度事業計画書及び予算計画書

4) 3R推進ポスターの制作・配布

工場、工事現場、オフィス、流通などのビジネス現場や公共の場において事業者により3R活動の推進を訴求する「3R推進ポスター」を制作し、10月の3R推進月間に合わせて会員団体、関係省庁、表彰の推薦機関となっている地方自治体などに配り、3R・資源循環推進の呼びかけのツールとして利用を呼び掛ける。

ポスターのデザインは、デザインコンテストを開催して公募し、選考会で最優秀作品に選ばれた作品を使用する。

作品募集において、学校からまとめて応募されることがあり、これらの学校のカリキュラムや自由課題の題材として取り上げていると思われる。このコンテストを通じて、単にデザインを募集するだけでなく、作品を製作する過程で3R・資源循環について考えを深める機会となるように3Rについての資料なども提供していく。

ポスターのデザイン公募時やポスターの配布時には、当協議会の会員団体、関係省庁だけでなく、3R・資源循環関連団体に協力を呼びかけて広報に努め、ポスターの広報や利用促進に努める。

2023年度事業計画書及び予算計画書

5) 3R関連の機関や団体等との協業

3R関連の機関や団体との協業を積極的に行い、より広範な3R・資源循環の情報提供に努める。協議会会員等が行っている3R関連イベントを後援したり、協議会ホームページで紹介したりと様々な方法で3R・資源循環の情報がより広く伝わるよう努める。

また、出展や共催などを通じて、他の団体との情報共有や、企業等の3R・資源循環の取組などの情報収集を行う。

6) 3R推進協議会事業活動の広報強化

いろんな機会に協議会の活動の紹介を行うことで、知名度を上げるよう努める。

3R推進功労者等表彰については、優れた取組を広く集めるため、表彰制度の認知度をさらに高める。3Rキャンペーンマーク、3R推進ポスターについても、3R・資源循環への参画を呼び掛ける仕組みとして推進する。

2023年度事業計画書及び予算計画書

B) 予算計画

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会
2023年度収支予算書
自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	備 考
I 収入の部		
1. 会費収入	4,050	
2. 前期繰越収支差額	5,498	
当期収入合計 (A)	9,548	
II 支出の部		
1. リデュース・リユース・リサイクル 推進功労者等表彰事業の実施	3,600	表彰式会場費及び運営費、審査委員会関係費、推薦要領・表彰結果冊子印刷 費・発送費用、審査結果送付費用、表彰状等作成費等
2. 3Rキャンペーンマークの普及	0	
3. 企画運営委員会経費	100	会議室代。交通費等は、各委員又はその所属団体が負担
4. 3R推進事業費 ・ホームページ関連費 ・優秀3R推進活動発表会 ・3R推進ポスター制作 ・表彰受賞者のその後の展開フォロー等	1,000	ホームページ関連費は、サーバーレンタル費用、ドメイン名使用料等
5. その他経費	0	理事会・総会開催費等
6. 事務局経費	0	上記1~5に係る事務局経費。 実際に発生する事務局経費は、協議の結果、産業環境管理協会が負担する (人件費及び事務局運営諸費用)
7. 管理費	100	消耗品購入、封筒印刷費、事務通信費、振込手数料等(直接事務に係る費用 のみ。事務局運営諸費用を除く)
当期支出合計 (B)	4,800	
当期収支差額 (A) - (B)	4,748	当期繰越予定額